



市川中HP

学びの秋…到来!

▼学校だより 12号では峡南地区新人戦において、本校の生徒が素晴らしい結果を残したことを紹介しました。そして22日(土)に**野球部が先陣を切って県大会**に出場しました。県上位チームである甲府東中学校と対戦し、0-7で敗れたものの、ダブルプレーを2回もとってピンチを切り抜けるなど、これまでの練習の成果が随所に見られる素晴らしい内容の試合でした。



▼今後は11月3日に男子バレー、剣道、男女ソフトテニス個人、5日に男女ソフトテニス団体、男子バスケット2回戦と次々に県大会が行われますが、各部の健闘を祈ります。▼スポーツの秋に続き、勉強の秋、学びの秋がやってきました。20日、21日と2学期の**中間テスト**が行われ、1・2年生は8教科、3年生は5教科のテストに臨みました。大事なテストとあって、当日の朝は教科書を片手に、友だちと勉強しながら登校する姿も見られました。▼25日の夜には3年生の保護者を対象とした「**第2回進路学習会**」が行われ、公立高校前期・後期募集、進路希望状況等の説明が行われました。今後は11月10日の第2回教育課程到達度確認検査終了後の14日から三者懇談を行い、進路決定を行います。分からないことや相談事がある場合は、是非担任にご相談ください。▼また本校では、生徒に質の高い学びを提供するために「外部講師」を積極的に

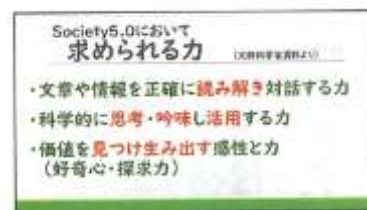


お招きし、特別授業を行っています。26日の5.6校時に「**夢・ときめきサイエンスラボ**」が3年生を対象に行われ、山梨大学生命環境学部の島崎洋一准教授による「発電方法と未来技術」というテーマの特別授業を受けました。生徒からは「たくさんの実験を用意してくれていてとても楽しかった。未来のことについて考えることはすごく面白いと感じた。」などといった感想が聞かれました。

人はなぜ学ぶのか

▼今年度も山梨県教育庁義務教育課から指導主事の先生をお招きし、「人はなぜ学ぶのか〜今取り組むべき家庭学習」と題した特別授業**(学力向上キャラバン)**を25日に実施しました。今回の対象学年は1年生で、希望する保護者にも参観していただきました。▼授業は、なぜ学ぶのかについてグループ協議をした後に、Society5.0(超スマート社会)において求められる力についての説明

がありました。▼後半は、自主学習の質を向上させるためには、繰り返し学習すること、図や表、



グラフを使ってまとめること、いろいろな知識を関連付けることといった工夫が大切であり、一日の取組時間の目安としては、学年×10分以上、すなわち1年生であれば70分以上が望ましいというお話がありました。▼9月に今年度の「全国学力学習状況調査(3年生対象)の結果と今後の対策」についての文書を全家庭に配布しましたが、普段(月曜日から金曜日)の1日当たりの家庭学習の時間が全国値に比べ5ポイントほど低くなっています。▼

今回の特別授業を受けて、生徒からは「勉強は何となくテストのためなどと考えていたが、話を聞いて、これからの人生のため、生きるため、将来のためという考えが変わった。これからは70分以上家庭学習をがんばりたい。」といった感想が多数寄せられました。「継続は力なり」といいますが、前向きに粘り強く取り組む力を、家庭学習を含めた学校生活で身に付けて欲しいと思います。▼2年生については12月7日に「**入試問題集活用学習会**」を、3学期に「学力向上キャラバン」を予定しています。7日は、保護者の参観が可能ですので、是非、来校してください。

